令和6年度県立森川特別支援学校　自己評価表　（中学部職員）

※【評価値】　A：達成できた、　B：ほぼ達成できた、　C：やや改善が必要、　D：改善が必要

評価項目		具体的方策	A	B	C	D
教育目標	1	本校の教育目標を理解し、生徒の実態に即した具体的な教育目標を設定している	2	5	0	0
教育計画	2	生徒の実態に応じた適切な教育課程が編成されている	3	3	0	1
	3	個別の教育支援計画は、本人、保護者の願いを踏まえ、適切な教育的ニーズが設定されている	4	2	1	0
	4	個別の教育支援計画、個別の指導計画が、日々の教育実践で活用されている	5	1	1	0
	5	年間指導計画は、学部内・学部間で一貫・継続した指導ができるよう系統的に作成されている	5	0	1	1
	6	各教科等の指導の重点は、学習指導要領に沿っている	4	3	0	0
教科等の指導	7	授業内容の理解促進のため、生徒に応じた配慮・工夫が行われている	5	2	0	0
	8	教材の精選、授業時数の確保等、学習保障への工夫がなされている	5	2	0	0
	9	実践的・体験的な活動を通して、生徒が主体的に学習活動に取り組めるよう工夫している	5	1	1	0
自立活動	10	個々の生徒の実態に即した内容が、計画的に実施されている	4	2	1	0
	11	個々の生徒の実態、目標の共有、指導体制の構築等において、職員の協働・連携が図られている	3	2	1	1
総合的な学習（探究）の時間	12	ねらいや指導内容は、生徒の興味・関心に即したものとなっている	3	2	2	0
道徳教育	13	道徳教育の全体計画を作成し、職員相互の共通理解や指導体制の連携を図っている	1	4	2	0
特別活動（生徒支援）	14	児童生徒会活動をはじめ、生徒が自主的で楽しく活動を進められるよう指導している	4	3	0	0
学校・学部行事	15	事前・事後指導を十分行い、生徒の実態に即した内容となっている	5	2	0	0
ICT活用	16	ＩＣＴの活用について、学びの深化・定着や自立活動等、学習指導や支援の充実に向け、積極的に取り組まれている	5	2	0	0
支援部・教育相談	17	適宜、関係者、関係機関等と連携し生徒及び保護者の支援に努めている	4	3	0	0
	18	特別支援教育のセンター的機能の充実に努めている	4	3	0	0
安全指導（保健安全）	19	病気理解と健康管理（健康の保持増進や体力の向上）について意識づけを行い、健康的な生活習慣の確立に向け取り組んでいる	5	2	0	0
	20	災害時及び緊急時等に適切な対応ができるような体制が整っている	5	2	0	0
	21	緊急時の対応や災害時の避難が適切に行われるよう適切に訓練を実施している	5	2	0	0

学校給食	22	学校給食の実施は、生徒の食育指導や基本的生活習慣の指導に生かされている	5	2	0	0
キャリア教育・進路指導	23	生徒の将来に向けて、計画的、系統的に進路の指導・支援が行われている	2	4	1	0
	24	進路情報の提供、相談、実習等が適切に行われている	2	4	1	0
交流及び共同学習	25	生徒の個々のニーズを踏まえた交流が行われている	1	4	2	0
図書室の教育活動	26	図書だよりや本の紹介、掲示板等を通して、生徒の興味関心を高める工夫がされている	5	1	1	0
環境美化	27	清掃や緑化への取り組みにより、環境美化が進められている	2	5	0	0
校内研修	28	指導・支援上の課題解決に資するよう、適切に取り組まれている	5	2	0	0
家庭、地域社会等との連携	29	医療機関と日頃から生徒の病状に応じた相談や対応等の連携を図っている	4	3	0	0
	30	学習活動、支援の充実に向け、保護者、関係機関等と適切に連携している	5	2	0	0
職員の協働・連携	31	教育活動、分掌業務において、職員の協働・連携が図られている	1	4	1	1
人権教育	32	生徒に対する不適切な言動や不適切な指導等の実態把握に努め、早期発見早期対応に努めているか	4	3	0	0
PTA	33	PTA活動、諸行事を通して、保護者と協力し教育活動の充実に努めている	4	3	0	0
施設・設備等	34	教育活動のため施設・設備は整備されている	1	2	3	1
	35	教育活動のため教材・教具や図書等の充実が図れている	1	5	1	0
備品管理	36	教育活動を効果的に行うために、教材教具等を有効に活用し、整理・保管等が適切になされている	4	3	0	0
安全点検	37	校舎内外の施設・設備の点検を定期的に行い、修繕等の環境改善に努め、安全管理がなされている	2	5	0	0
働き方改革と業務改善、ハラスメント防止【学校における働き方改革の3軸・6視点より】	38	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができている	2	2	2	1
	39	一人一人の生徒との信頼関係を深めることができている	4	3	0	0
	40	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている	1	4	2	0

※ご意見その他お気づきの点がありましたら、記入をお願いします。（特に教員の多忙化を防ぐために取り組んでいること、または学校として取り組んで欲しいこと）

・多忙化を防ぐ為にはチームで課題に取り組めるようチーム支援会議を行った。保護者に関しての困り感は関係機関を含めての情報共有を行っている。
取り組む必要があることとして、本校本務職員は校務の主任になっており、難しい生徒の担任をしながら教科指導、学部分掌でも主で動いている。学校全体を見て学部分掌もふくめ仕事内容を吟味しながら負担を減らしていけるようにしていきたい。
・休憩時間の呼びかけをしてほしい。休憩がとりずらい。
教科や学部、本校・院内で校務分掌や係のバランスが必要だと思います。これからも業務の精選を全体で考えていけたら良いと思います。